

社会福祉学部教員の委員会活動  
(委員会活動年度報告書)

# 教務委員会

住友 雄資

## 1. 教務委員会の活動

教務委員会の役割は以下のものである。

- (1) 教育課程の構成, 学科目の種類, 編成及び履修方法にかかる調整, 企画立案, 運営及び実施に関すること.
- (2) 学生の転入学, 編入学, 転学部, 転学科, 休学, 復学, 退学に関すること
- (3) 試験及び卒業に関すること
- (4) 他大学との単位互換に関すること
- (5) その他社会福祉学部の教育課程に関すること

## 2. 2007年度の経過報告

### カリキュラム改訂および時間割編成

専門教育科目の一部改訂を行い, 2007年度入学生から, 必修科目「面接技法」を新設(「カウンセリング論」を必修科目から選択科目に変更)するとともに, 「ケアマネジメント論」「事例研究法」を選択科目から必修科目に変更した。また「医療ソーシャルワーク論」を新設して, 既存の「医療福祉論」加えて社会福祉士の指定施設化に対応した。

時間割編成が困難さはこれまでと変わらない。そこで, 国家資格受験資格を得ようとする3年次編入学生に対して, 修業年限が実質3年間になるように制度を改正したことで, 時間割編成が若干スムーズになることが予想される。

### 卒業研究論文に関する三発表会の実施

今年度も卒業研究論文の完成に向け, 4回生対象に「卒論構想発表会」, 「卒論中間発表会」, 「卒業研究論文発表会」を開催した。「中間発表会」のポスター発表方式は, 昨年度の反省にたつて, 持ち時間の短縮をおこない, 椅子に座ってじっくり発表を聞くことができたという意見があった。教員からの指導だけにとどまらず, 3回生などからの質問などで, 学生間でのやりとりがあちこちで生まれ, 参加したという気持ちだったとの感想を得たことは評価できる点である。

なお卒論の内容についていえば, その研究水準がますます高くなってきていることは評価に値する。カットアンドペーストでの論説論文ではなく, 多くの4回生が現場に出て量的・質的調査をおこない, そこから得たデータを分析するというスタイルが確立しつつある。喜ばしい傾向である。当然のことながら, このことは「人を対象とする研究」となるので, これらの人に対する倫理的配慮が不可欠となる。今年度から導入した研究倫理専門審査は, 重要な役割を担ったと考えている。

### 社会福祉士及び介護福祉士法改正に伴う情報収集と今後の対応

国会審議を経て, 2007年11月には社会福祉士及び介護福祉士法が改正された。この1年間はこのことにかかわる教育課程や演習・実習教育法などについての情報をいろいろなところから収集した。これへの対応としては, 実習委員会と教務委員会の合同委員会を立ち上げた。この委員会で2009年4月に導入される新しい指定科目への対応を図るカリキュラム編成をおこなってい

くこととなった。

### 3. 今後の課題

専門教育科目については、カリキュラム再編と時間割編成見直しが課題である。社会福祉士及び介護福祉士法改正でそれがより緊急性を帯びてきた。そこには、①教職（福祉科）の廃止検討、②新しいカリキュラム編成という具体的で緊急な課題を 2008 年度に有している。また 2 キャンパス問題は教務上の大きな問題である。今年度、県議会でのキャンパス移転統合予算が否決されたことで、この問題への解決が遅れていることは重ね重ね残念である。早急に解決しなければならない課題である。

# 入試委員会

西梅 幸治

## ○平成19年度委員会の体制

2007年度(平成19年度)の社会福祉学部の入試実施体制については、全学入試委員を学部長、全学入試実施委員を西梅・玉里、学部入試委員を川崎・太田、センター試験部会委員を西梅が担当した。

## ○入試実施の概況

今年度実施された入試の結果は、以下の表のとおりである

選抜方法	募集人員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数	合格倍率 C/D	志願倍率 B/A
①一般推薦	9	20	20	10	10	2.0	2.2
②専門推薦	1	1	1	1	1	1.0	1.0
③3年次編入	3	2	2	2	1	1.0	0.7
④前期日程	17	91	87	20	17	4.4	5.4
⑤後期日程	3	120	63	5	5	12.6	40.0
⑥私費留学生	若干人	0	0	0	0	—	—
計	33	234	173	38	34	4.6	7.1

③の小論文の出題—若年認知症家族会 彩星の会編(2006)『若年認知症 本人・家族が紡ぐ7つの物語』中央法規出版 からの引用

④の課題図書—矢崎存美(2006)『神様が用意してくれた場所』GA文庫

特筆すべき点は、①④⑤において前年度に比べ志願者がやや増加したことである(①1.5倍、④1.06倍、⑤1.24倍)。⑤については、公立大学で全国一の志願倍率を達成した。その一方で③については、志願者数が減少した(5名減)。この理由には、国家試験受験資格取得の場合の修業年限が2ヵ年を超えることを募集要項に記載したことが考えられる。

## ○入試に関わるアンケートを実施

また昨年度に引き続き、志望動機に関するアンケートを、現1回生を対象に行った。その結果では、昨年度と同様、社会福祉関連の資格取得や就職を希望するため、公立大学で私立より学費が安い、センター試験の結果を考慮して、などの理由が志望動機として多く挙げられていた。

## ○成果と課題

まず成果については、志願者数の増加がある。社会福祉学系の各大学では、全国的に志願者数が減少傾向にあるなか、本学部は前年に比べ志願者増となっている。特に今年度については、①進路相談会などへの積極的参加、②学部ホームページの充実(学部の教育、学生生活の状況、就職状況、国家試験合格状況のわかりやすさ)、などが一要因であると考えられる。

一方で課題は、①前期入試の課題図書について、②志願者の確保についてである。まず①について今年度は、続編が出版されたこと、流通量が少なかったことなど、購入ルートについて問題が生じた(上記の志望動機に関するアンケートでは、センター試験終了後に課題図書を購入した

## 委員会活動 2007 年度報告書

学生が約 70%であり、即時に入手できることが求められる)。そのため来年度は、これらについて出版社への確認を徹底することが課題である。

次に②については、予定されている学部再編と定員増に伴い、県内はもちろん、四国・中国地方の受験生を確保していくことが課題である。そのため積極的な広報活動を行い、本学部のアドミッション・ポリシーに見合う志願者を獲得しなければならない(上記の志望動機に関するアンケートでは、女子大のホームページ、高校の先生から本学部の情報を得ている)。加えて、定員増に伴う志願者の飛躍的な増加を見込み、入試形態・形式についても検討していくことが課題となる。

# 学生委員会

鈴木 孝典

## ○活動方針

学生委員会は、学生の福利厚生向上、自主的活動の支援、学生生活に必要な情報提供を目的に活動を展開している。メンタルヘルス上の課題を抱える学生の増加、学費等経済的支援に係る相談の増加、高水準で発生する県内の犯罪などの問題状況を踏まえ、今年度は、保健相談、経済的支援、防犯の3点を重点課題とし、情報提供を中心とした活動を展開した。

## ○活動内容

### I. 相談活動

保健師、心理カウンセラー、医師による相談窓口を定期的に開設した。相談の利用形態、利用時間、申し込み方法については、年度当初のオリエンテーションにて説明した。また、定期の相談日は、掲示板などを利用して学生に周知した。

併せて、今年度後期より精神科医による相談日が増設され、メンタルヘルス上の問題に係る相談体制を強化した。

なお、本学部生の相談利用の実績は、平成20年3月末現在の述べ数で、精神科医による相談(11回実施)の利用者が8名、カウンセラーによる相談(27回実施)の利用者が14名であった。

### II. 経済的援助

年度当初のオリエンテーションにて、日本学生支援機構の奨学金の申請方法を説明したほか、学生からの個別相談に応じ、適宜、授業料の免除や各種奨学金の申請などについて情報提供及び手続き支援を行った。

### III. 防犯活動

年度当初のオリエンテーション時に犯罪の発生状況及び防犯ベルの貸し出しなど、防犯に係る情報提供を行なった。また、平成20年2月21日には、県警本部長を池キャンパスに招き、防犯に係る講演会を開催し、防犯に係る知識の普及に努めた。

### IV. 情報提供

社会福祉学部棟の掲示板などを活用し、学生生活にかかわる情報を随時、提供した。また、4月には、サークル紹介専用の掲示板を特設し、新入生へのサークル情報の伝達の機会を在學生に提供した。

### V. 健康の維持、向上

年度当初に健康診断を実施した。また、適宜、学生からの個別相談に応じ、保健室や学生相談窓口などを紹介した。併せて、保健室と随時、連携を図った。

## ○成果と課題

学生生活に影響を及ぼす三点の課題を中心に活動を展開し、精神保健相談については、利用者の増加など一定の成果が見られた。経済的支援については、窓口を担う学年担当教員との連携が不十分であり、学部内の状況を十分把握できていないことから、今後は個人情報に配慮した情報集約の体制を構築する必要がある。また、本学部生が巻き込まれる犯罪や事故が増加しており、このことへの組織的な対応が喫緊の課題である。

# 就職委員会

吉野 由美子

## 1 全額の取り組み

平成18年度まで就職委員会として学生の就職活動をサポートしてきた機関を、平成19年7月からは「キャリアセンター」と改名し、単に就職活動をサポートするだけでなく、学生に職業に就くことの意義、進路決定の仕方まで含めたキャリア教育を行えるようグレードアップし、キャリアセンターのもとに、ワクワクWORKがより効率的に支援できるような体制が取られた。

## 2 学部の取り組み

(1) 民間企業への就職も考えている学生のために、主に永国寺キャンパスで行われていた「インターンシップ」に池の学生も参加しやすいよう、オリエンテーションを池でも開催していただいた。今年度は社会福祉学部2年生が2名一般企業でインターンシップを行った。

### (2) 就職ガイダンス

本年度は、4年生向けにはテーマを分けてきめ細かくガイダンスを行った。その内容は以下の通りである。

#### ●履歴書の書き方ガイダンス

日時 5月9日(水) 午後6時10分から  
場所 社会福祉学部棟 101  
講師 ワクワクWORK 松木さん

#### ●社会福祉学部出身者による就職活動ガイダンス

日時 5月16日(水) 午後6時15分から7時45分  
場所 共用棟大講義室  
講師 特別養護老人ホーム グループホーム ほのぼの 宮崎さん  
三愛病院MSW 今城さん  
細木ユニティ病院 PSW 大山さん

#### ●小論文の書き方ガイダンス

日時 6月20日(水) 12時35分から  
場所 社会福祉学部棟102  
講師 ワクワクWORK 松木さん

#### ●きのこグループ指導者によるガイダンス

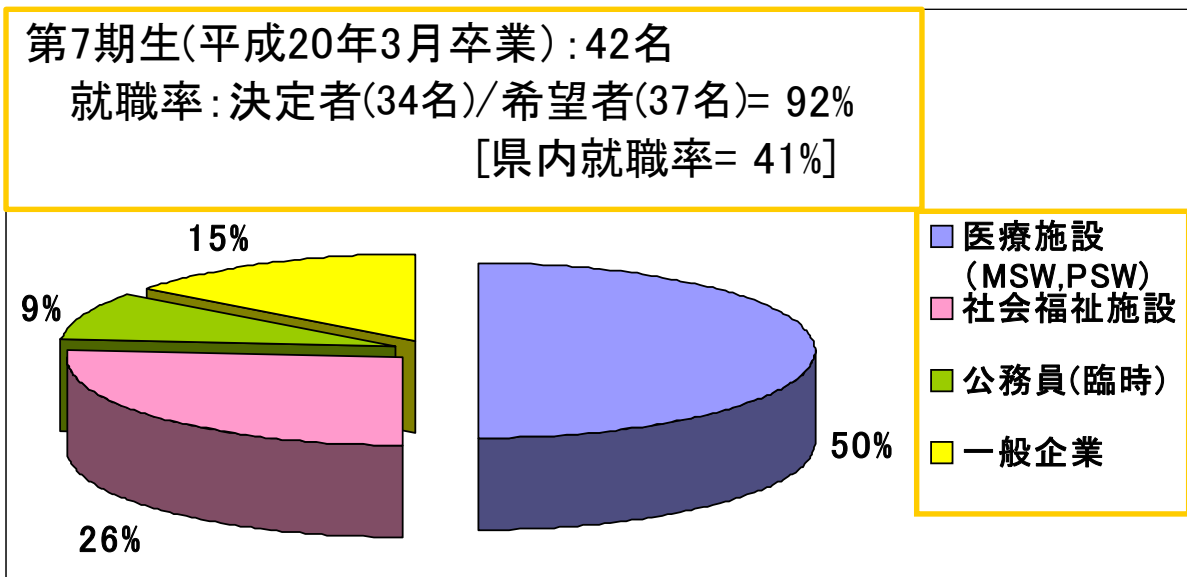
日時 6月22日(金) 12時35分から  
場所 社会福祉学部棟 102  
講師 特別養護老人ホーム 真鍋氏

### 3 学年担当として

5月はじめに全員と面接して進路希望を確認し、その希望に添えるようワクワクWORKと協力して活動を行った。履歴書や小論文の書き方などテーマ別の就職ガイダンスは公表であった。

### 4 活動の評価

本年度は42名の卒業生の内、就職を希望したものは37名で、本年度末までの就職状況は、下記の通りである。



昨年度に比べると就職決定率がやや劣るが、決定していない人たちは、臨時の教員枠を待っていたり、それぞれ希望に合う就職先を探しているという事情もあり、決定率が落ちたことがそのまま問題である訳ではない。

また、本年度は社会福祉以外の一般企業を希望したものの割合がいつもより多かったが、池のワクワクWORKの強力な助けを得て、一般企業の情報も入手しやすくなり、学生の選択の幅を広げることができた。

### 5 今後の課題

学生の進路希望が、今後いっそう多様化してくる傾向があるので、それに対応したサポート体制を構築する必要がある。池のワクワクWORKの機能は見違えるほど充実してきているので、ワクワクWORKとの協力関係をより密にして行く必要がある。

また、県内での社会福祉専門分野の求人が少なくなって来ており、新しい就職先の開拓も重要な課題となって来ている。



# 広報委員会

---

吉野 由美子

本年度も全学的には広報プロジェクトが置かれて、オープンキャンパスや大学案内の企画をすべて行っていたので、学部の広報委員としては、学部オープンキャンパスの企画と実行が主な仕事であった。

本年度の新しい企画としては、9月16日に「オープンキャンパスに参加できなかった人のための社会福祉説明会」を開いたことであった。参加は3名だけであったが、参加者の反応は良好であった。来年度もこの企画を行うなら、開催時期についてよりいっそう検討する必要がある。

# 社会福祉学部

体験

実感

**OPEN  
CAMPUS  
2007**

**2007. 8. 1  
WED**

**10:00 START**

高知女子大学池キャンパス

社会福祉学部棟

(問合せ)088-847-8700(代表)

①11:00-11:45 ②14:00-15:40 入試のことがよくわかる!

(入試相談コーナー) **教員による相談室**

12:45-13:50 社会福祉学部がわかる! **学部全体説明会**

午前は全学科共通の

**特別企画!**

13:50-15:40 4月入学!一回生の **先輩による相談**

(随時) 学生撮影の秘蔵ビデオを一挙公開!

**学部紹介ビデオ上映会**

14:15-14:45 「一日社会福祉学部生」を体験!

**「福祉体験演習-自分の「目」を知る-」**

鈴木 孝典 講師

ひと

人間 っておもしろい!

学生・教員に、なんでもきいてみてください!



2007年8月1日

社会福祉棟

社会福祉学部のすべてがわかる!

	共用棟2階	玄関	1-4階	101講義室	102講義室	202講義室
10時	学生シンポジウム 「女子大のイチオシ発見！」 (全学共通) [10:00-11:15]	受付	自由 見学	学生撮影の 学部紹介ビデオを 上映しています	 フリードリンク コーナー	先生にも オススメ 教員による 相談室 [11:00-11:45]
11時						
12時	昼休み  11:45~12:45 食堂で学生アトラクション					
13時	学部全体 説明会 [12:45-13:50]			学生撮影の 学部紹介ビデオを 上映しています (随時)	大好評 先輩による 相談室 [13:50-15:40]	先生にも オススメ 教員による 相談室 [14:00-15:40]
14時						
15時				体験授業 [14:15~14:45]		
16時						

何でも学生、教員に聞いてくださいね。親切にお答えします。  
 永国寺キャンパスと池キャンパスの間をシャトルバスが運行します。

14:15~14:45 体験授業

## 「福祉体験演習－自分の「目」を知る－」

鈴木 孝典 講師

体験授業



# オープンキャンパスに

## 参加できなかった方のための

# 高知女子大学社会福祉学部説明会

社会福祉学部の開催する「高校生のための公開講座」や8月1日の「オープンキャンパス」に参加を希望していたけれども、補習や他の行事と重なってしまったためにどうしても参加できなかった方を対象として、社会福祉学部説明会を開催します。

日時：2007. 9. 16 (日)・午後 1 時から受付開始

場所：高知女子大学池キャンパス 社会福祉学部棟 101 教室

午後1時30分～2時30分

### 社会福祉学部ってどんなところ？

入試のこと、教育内容、取得できる資格のこと、卒後の就職のことなど、社会福祉学部を紹介します。

(講師 前山智学部長)

申し込み不要！

当日直接お越しください！

右のうち、好きなプログラムにご参加ください。

午後2時30分から4時

**\*教員による相談室** (入試相談も！)

**\*学内自由見学**

**\*学部ビデオ上映会** (学生撮影の秘蔵ビデオ一挙公開！)

〒781-0111 高知市池2751-1 高知女子大学社会福祉学部 (事前問合せ) 088-847-8700 (代表)

#### 【アクセス】

バス利用の場合 (大人片道 330 円)

\*池キャンパスへ\*

はりまや橋 高知女子大学  
・12:35 発 → 12:56 着

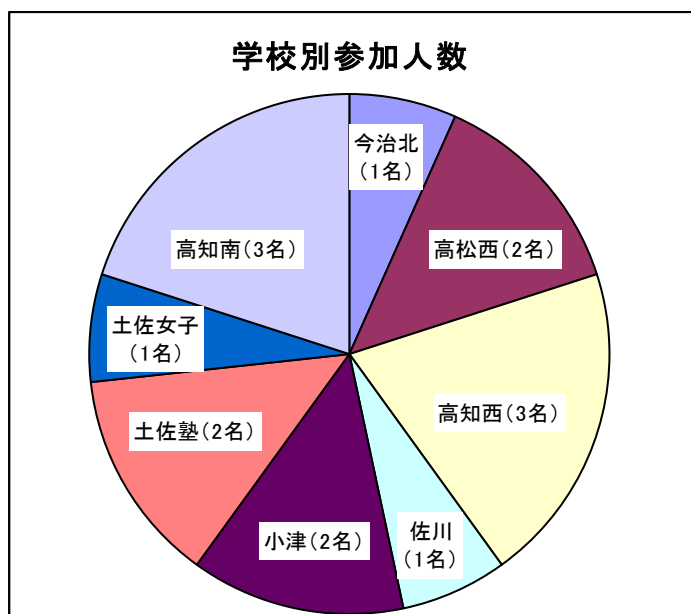
\*池キャンパスから\*

高知女子大学 はりまや橋  
・16:00 発 (注) → 16:22 着 (注) 高知医療センター発  
・17:48 発 → 18:11 着

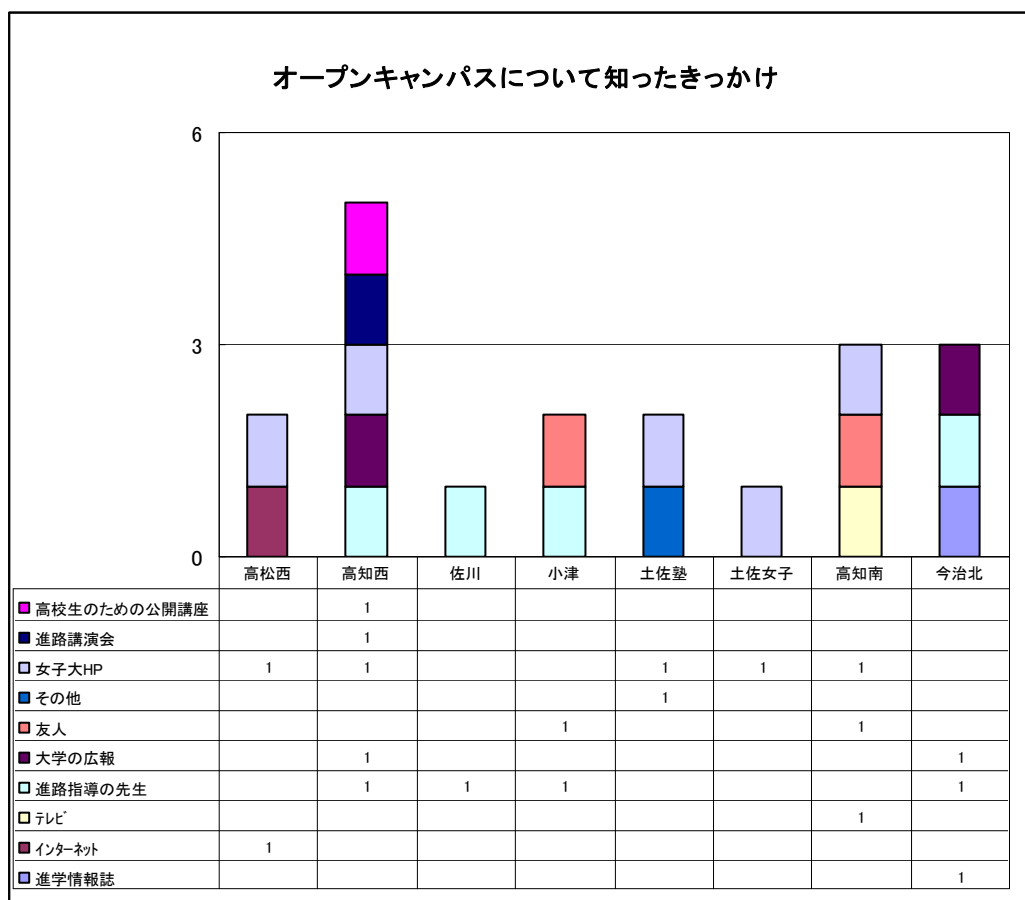
自転車・自家用車をご利用の方は高知女子大学ホームページを参照→<http://www.kochi-wu.ac.jp/access/ike.htm>

## OPEN CAMPUS 2007 アンケート集計結果

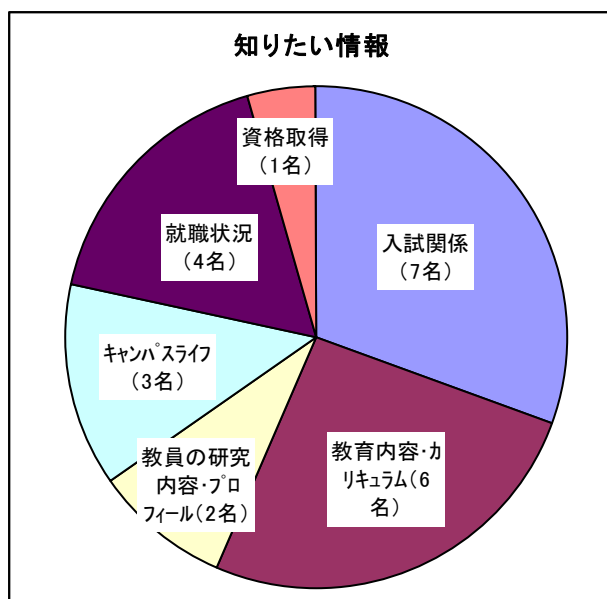
### 1. 学校名（全員高校3年）



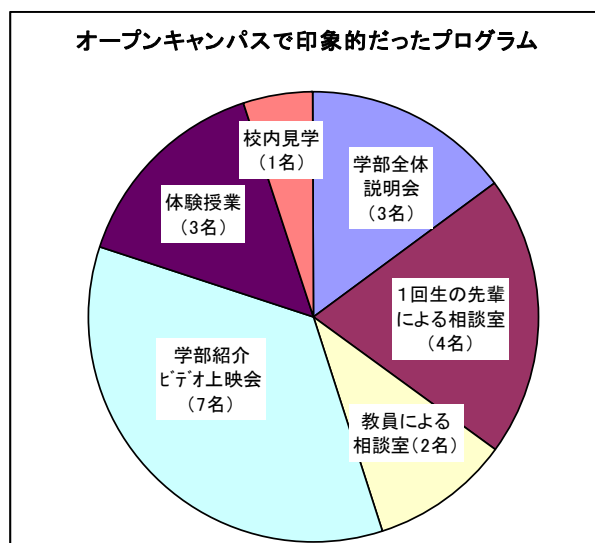
### 2. 社会福祉学部のオープンキャンパスを何でお知りになりましたか？



3. 社会福祉学部に関してどのような情報を知りたいですか？



4. 社会福祉学部のオープンキャンパスで印象的だったプログラムは何ですか？



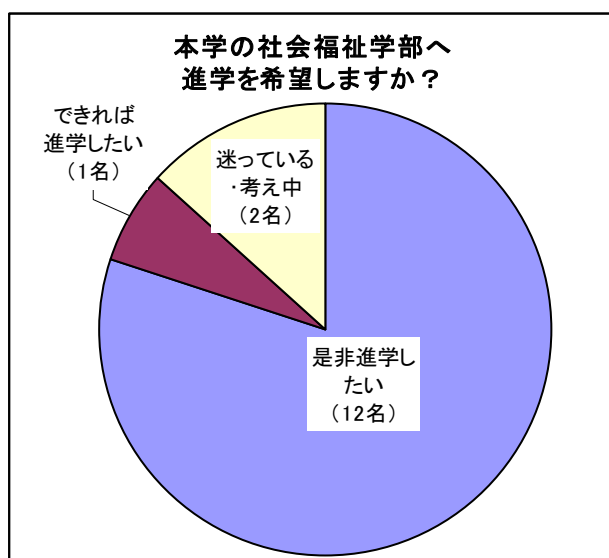
5. 社会福祉学部の感想をお書きください。

学校名	1) 施設や環境はいかがでしたか？	2) 教員や在学生の様子はいかがでしたか？
土佐塾	自然がいっぱい。校舎がきれい。	とても優しくて楽しい人がいっぱいでした。
小津	きれいでとても充実しているようだった。	親切だった。
小津	とてもキレイ。病院みたい。	—
高知南	すごくキレイで居心地がよかった。食堂がすごく広くて、ご飯もおいしかった。	すごい明るくてたのしそう。1人ひとりの個性が光っていた。
高知南	周りに緑がとても多く、施設もとてもきれいでした。学食もとてもおいしかったです。	常に笑顔でやさしそうでした
高知南	とても充実していた	「楽しい毎日を過ごしてるな」と感じた
今治北	自然環境、施設ともすばらしいと思った	学長さんのお話にすごく感動した。学生さん達の自分から前向きに学ぶという姿勢や内容説明がとても良かった。
土佐塾	とてもキレイで楽しそうだった。トイレがすごくキレイだった。土佐塾で6年間学んできたので、池キャンパスのような所で学べたら楽しそうだなと思った。	仲が良さそうだった。みんなが笑顔で楽しそうだった。
高松西	キレイで勉強しやすい環境だと感じた	みんな優しくて、明るくてとても親しみやすかった
高松西	すごくキレイで勉強しやすそうだったと思った	とてもフレンドリーで仲良くて、よさそうだった
土佐女子	自然に囲まれて、建物もキレイでとても良い環境で勉強できるなと思った	アットホームな雰囲気、在学生のみなさんはとてもあかるく優しそうだった。教員の方々はとてもやさしそうで、こんな雰囲気勉強したいなと思った。

## 委員会活動年度報告書

高知西	とてもキレイで勉強しやすそう	とても優しくておもしろい
高知西	とても良いと思った。静かだし、施設もきれい	みんなが仲良しで、質問もしやすそうだと思う。毎日楽しく充実した日々が送れそうだと思う。
高知西	とてもキレイだった。食堂もすごくおいしかった。	在学生はとてもおもしろく、毎日が楽しそうだった。先生方も優しい方ばかりだなあと思った。
佐川	きれいで静かで落ち着いている	先生も在学生もとても明るくなかが良さそうで、すごい良い関係だと思った。

### 6. 本学の社会福祉学部へ進学を希望しますか？



#### 選択肢

1. 是非進学したい
2. できれば進学したい
3. 希望しない
4. 迷っている・考え中

- 1 これからの日本に社会福祉士は必要なものだと思うし、様々な問題に対してどのような解決方法があるのかを学びたいから。
- 1 将来社会福祉に携わる仕事に就きたいと思っているし、社会福祉学を学びたいから。
- 4 -
- 1 障がいのある人、高齢者、発展途上国の人々などが、毎日を少しでもたのしく生活できるように手伝いたい。社会福祉を学んで、いろんな人に伝えたい。
- 1 将来、相談援助職につきたいと考えているからです。幅広い知識を身につけて、色々な面から利用者をサポートできるようになりたいと思っています。
- 2 -
- 1 学校での福祉体験やボランティア活動を通じて福祉活動の大切さを学び、関心を持ったから
- 1 姉が女子大学に通っているのを見て楽しく勉強できそうだな、と思ったことと、人に感謝される仕事をしてみたいと思ったから。
- 1 -
- 4 -
- 1 中学校のころから人のために役立つ仕事をずっとやりたいと思っていて、自分たちの身近な福祉ということを深く勉強したいと思ったから。
- 1 障害者福祉に興味があるので
- 1 公開授業・オープンキャンパスと3日間参加させていただき、先生・生徒のみなさんを見てみると、

私もここで学びたくなりました。また、福祉について資格を取るためだけでなく深く学ぼうという教育方針に強くひかれたから

- 1 福祉に興味があり、社会福祉のことをもっとたくさん学びたいから
- 1 幅広い分野のある社会福祉を大学の4年間で深く学びたいと思っているから。

## 7. その他、ご意見・ご感想をお書きください。

- ・今日は友達の付添で来ましたが、とても良い雰囲気、大学という所がどういう所かわかって勉強になりました。
- ・公開授業、オープンキャンパスと3日間参加して、前よりもっと女子大、社会福祉学部に入りたくなりました。先生方も先輩たちもすごくあたたかくて、楽しくて懂れました。こういうがくぶでべんきょうしていきたいと思いました。何より食堂のごはんがおいしくて、「制覇」してみたいです。
- ・公開講座にも来させてもらったのですが、大学の雰囲気も良かったし、先輩や先生もとても優しく、おもしろかったです。学生一人一人の「自主性」というのも感じる事ができました。ぜひ貴学に進学したいと思いました。
- ・学生さんや先生方、キャンパスの雰囲気などとても良く、ここで学びたいと強く思った。ボランティア活動にぜひ参加してみたいと思った。
- ・とても楽しいオープンキャンパスでした。食堂のお昼もおいしかったし、先生の説明もとてもわかりやすく、絶対女子大に入ろう、と新たな闘志が芽生えました。よさこいの踊りもとてもキレイで参加してみたいなと思いました。今日はありがとうございました。
- ・模擬授業がとても楽しかった。福祉の難しさが良くわかった。オープンキャンパスに来てよかった
- ・"途中で体調が悪くなって、保健室で休ませてもらったのですが、とても優しく接していただいて、気分もだいぶ良くなりました。お世話になった先生にお礼を言いたかったのですが、お名前を聞くのを忘れていたので、ここでお礼申し上げます。
- ・先輩方の相談コーナーでは、とても親切に答えていただき「高知女子大学に進学したい!」と言う思いが、より大きくなった。オープンキャンパスに参加して、本当に勉強になった。"
- ・公開授業はとても勉強になった。どの講義も興味深いものばかりで、聞き入った。オープンキャンパスで先輩方のお話をきけたのがすごく良かった。皆さん優しく、私ももっと頑張ろうという気持ちになった。お世話になりました。ありがとうございました。女子大に入れるようにがんばります。
- ・今日は、1回生の先輩方による相談会に生かしてもらいました。先輩方はとても明るく出迎えてくれて、私たちの話を真剣にきいてくれた。すごくおもしろい人ばかりで本当に楽しかったし、たくさんためになる話をしてくれて本当に嬉しかった。おとといから今日までの3日間、女子大に来て、絶対この大学に行きたいと思いました。本当に楽しかったです。ありがとうございました。
- ・去年もこのオープンキャンパスに参加し、今年も参加した。学部説明会での1回生の体験談はすごく参考になった。また、今年は体験授業も受けて大学の授業や社会福祉において大切なことを学べてよかった。7/30・31の講座と今日のオープンキャンパスの3日間はすごく充実し、学ぶことの多かった日で、参加して本当に良かった。



# 地域創成センター

玉里 恵美子

(1) 全学的活動

地域推進会議の委員として委員会に出席し、ニュースレターの編集などや高知女子大学と地域との連携案件について審議した。

(2) 社会福祉学部での活動

○ 高校生のための公開講座

2007年7月30日(月)と7月31日(火)の2日間、高校生のための公開講座を開催した。本講座は、高知県の高校生を対象に、社会福祉への理解を深めてもらうと同時に、四国で唯一の公立大学で社会福祉を学ぶことのできる本学部を認識してもらう機会として、毎年開催している。本年は、高知県下の高等学校と県外からの応募もあり44名の申し込みがあった。5名の講師による幅広い内容の講義を行うとともに、最終時間にはサロンと称し、入試、実習、資格取得など高校生の疑問に教員が答え、参加高校生とぬくもりのある交流を行った(のべ講師数9名)。(別紙資料参照)

○ 社会福祉学部リカレント教育講座

本講座は、1998年4月の社会福祉学部新設とともに、福祉の現場で活躍している社会福祉従事者を対象として開設され、現在に至っている。本年度も、本学教員等によってさまざまな講座が10月から12月までの期間に、9回開講された(のべ講師数14名)。高知県下からさまざまな領域の社会福祉関係者の専門家の応募があり、受講者延べ人数は438名であり、福祉関係者の研修ニーズの高さが示された。(別紙資料参照)

【資料】平成19年度 参加者数実績

講座名		参加者数
高校生のための公開講座		44名
リカレント教育講座		
特別講演Ⅰ	医療制度改革と介護のゆくえ	93名
特別講演Ⅱ	社会福祉専門職養成と社会福祉学部	46名
一般講演A	障害者自立支援法と高知県の実態	74名
一般講演B	田内千鶴子さんを知っていますか	8名
一般講演C	認定子ども園と保育所制度のゆくえ	13名
ロービジョンケア講座D	ロービジョンケアとは何か(他)	45名
ロービジョンケア講座E	ロービジョンケアのための眼科基礎知識(他)	61名
ロービジョンケア講座F	適切な視聴覚障害者への配慮の仕方	54名
ロービジョンケア講座G	見えない見えづらい子の発達とその支援	44名

# 高校生のための 公開講座 2007

—Welcome to 高知女子大学社会福祉学部—

高知女子大学社会福祉学部は、社会福祉領域のプロフェッショナルを養成する、四国内で唯一の公立大学です(社会福祉士国家試験合格率 58.1%(全国平均 27.4%)、精神保健福祉士合格率 94.1%(全国平均 60.3%)、就職率 96.6%、2006年度)。

未来のプロフェッショナルを育てる高知女子大学の雰囲気、この夏、体験してみませんか？

2007年7月30日(月)・31日(火) 開講！

高知女子大学社会福祉学部 ●池キャンパス●

ホームページ <http://www.kochi-wu.ac.jp/~fukushi/>

## ごあいさつ

四国で唯一の公立大学で社会福祉を学べる場としての本学の存在を認識していただくとともに、社会福祉に対する理解を深めていただくために、平成 12 年度より、高知県下の高校生を対象として、「高校生のための公開講座」を開講してまいりましたが、今年度からは県外からの高校生も参加していただけます。

夏休みのひととき、大学で普段行われているような講義を聴いたり、先生方に直接質問したり、大学の雰囲気に触れる絶好の機会です。日ごろから社会福祉に関心を持っている人だけでなく、たくさんの人に受講していただきたいと思います。

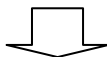
高校生の皆様のご参加を心からお待ち申し上げております。

高知女子大学社会福祉学部

学 部 長 前 山 智

### 高校生のための公開講座の受講申込方法

1. 高校生公開講座受講申込書(別紙)に必要事項をご記入ください(黒のボールペンなどを用いて、楷書でハッキリとお書きください)。

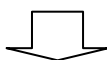


2. 高校の先生を通じて、FAXか郵送でお申し込みください。参加費は無料です。

**お申込締切は、7月13日(金)必着。**

【お申込み先】〒781-0111 高知市池 2751-1 FAX: 088-847-8672

高知女子大学社会福祉学部・高校生公開講座係



3. 使用教室の関係で、参加定員は30名とさせていただきます。受講希望者多数の場合は、学校・学年などを参考に人数を調整させていただくことがありますので、あらかじめご容赦ください(参加定員等の都合で参加いただけない場合、7月20日(金)までにお申込者様宛にご連絡いたします)。

\* 講座は高校2、3年生を対象です

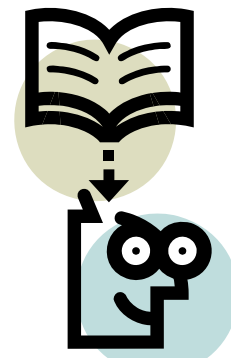
\* 原則として2日間連続して受講してください

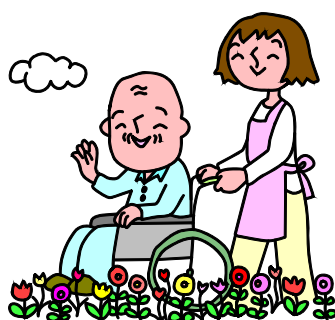
第8回高校生のための公開講座  
今年度のLINE-UP!

7月30日(月)		7月31日(火)	
1時限	【池キャンパスへのアクセス】バス：大人片道330円(土佐電ドリームサービス) はりまや橋 高知女子大学 ① 9:15 → 9:36 ② 9:50 → 10:11		
2時限 10:20~11:50	開講式		【講座④】 北欧の福祉事情 ~スウェーデン・デンマークの福祉とは~ (田中きよむ教授)
	【講座①】 高知女子大学社会福祉学部の紹介 (前山 智教授)		
昼休み			
3時限 12:35~14:05	【講座②】 社会福祉の援助とは? (住友 雄資教授)		【講座⑤】 ボランティアとNPO (太田こずえ助教)
4時限 14:15~15:45	【講座③】 名探偵コナンと社会福祉学 (吉野由美子准教授)		【サロン】 みんなの疑問に答えて~入試・実習・資格取得のことなど~(複数教員) (司会 西梅 幸治講師)
	閉講式		
5時限	(学部内自由見学)		
	【池キャンパスからのアクセス】バス：大人片道330円(土佐電ドリームサービス) 高知女子大学 はりまや橋 ① 16:00(注) → 16:22(注) ①は16:00 高知医療センター発 ② 17:48 → 18:11		

※スケジュールが若干変更になる可能性があります。予めご承知おきください。

- ・ 昼食は学内の生協食堂・売店、大学隣の高知医療センター内のコンビニがご利用いただけます。
- ・ 8/1(水)は高知女子大学オープンキャンパスが開催されます(事前申込不要)。こちらにもぜひお出かけ下さい。





お申し込みお待ちしております！

## 高知女子大学社会福祉学部

●池キャンパス●

〒781-0111 高知県高知市池 2751-1

TEL : 088-847-8700 (代表)

FAX : 088-847-8672 (学部専用)

ホームページ <http://www.kochi-wu.ac.jp/~fukushi/>

## 第8回高校生のための公開講座 受講申込書

2007年 月 日

(フリガナ)				
高等学校の 担当教員名				
(フリガナ)				
高等学校名				
高等学校の 所在地 等	〒 . . . . .			
	TEL		FAX	
<b>受講希望者全員の氏名 (フリガナ)・学年・利用予定交通手段</b>				
No	お 名 前		学 年	利用予定 交通手段
	(漢 字)	(フリガナ)		
1				
2				
3				
4				
特記事項				

※本学部がこの申込書によって知り得た個人情報は、「第8回高校生のための公開講座」実施の目的以外には利用しません。

申込締切 (必着) : **2007年7月13日(金)**

大学使用欄			
-------	--	--	--

高知女子大学社会福祉学部

FAX (学部専用) : 088-847-8672

高知女子大学社会福祉学部

# リカレント 教育講座

— 知のフィールドへの招待 —

社会福祉の講義が  
**無料**で学べます！

2007年 10月より開講



## ごあいさつ

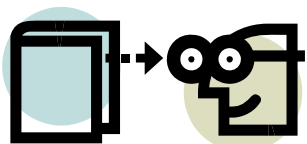
高知女子大学社会福祉学部

学部長 **前山 智**

日頃は、本学の社会福祉教育にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。  
本学部では、高知県下の保健・医療・福祉従事者を対象とした再教育・再研修に寄与するために、平成10年度より「高知女子大学社会福祉学部リカレント教育講座」を開講しております。今年度も開講できる運びとなりましたので、受講生を募集いたします。  
お気軽にご参加頂き、日頃の実践に多少なりともお役立て頂ければ幸いです。



## 今年のリカレント講座はちょっと趣を変えてみました



高知女子大学社会福祉学部

リカレント教育講座コーディネーター **吉野 由美子**

今、医療や福祉を取り巻く制度が激変しています。今年のリカレント教育講座の第一の目玉は、これらの制度改革の背景とその影響について「特別講演」と一般講座で集中的に取り上げることです。

第二の目玉は、私の専門分野を生かしてロービジョンケア（視覚障害リハビリテーション）の最新情報をお伝えする連続講座を企画したことです。私たちは高齢になると誰でも「見えづらく」なるものです。それで高知県のような超高齢化県の福祉現場には、実は沢山のロービジョン（見えづらい）方がいます。その方達に対するサービスの提供に、この講座はきっと役に立つと思います。

沢山の方達のご参加を心からお待ちしております。



## リカレント教育講座の受講申込方法

リカレント教育講座申込書(別紙)に必要事項をご記入ください  
(黒のボールペンなどを用いて、楷書でハッキリとお書きください)



申込書を FAX または郵送でお申し込みください  
(受講希望講座選択の際には、受講条件にご注意ください)

**お申込締切は、9月28日(金) 必着**

### 【お申込み先】

<郵送> 〒781-0111 高知市池 2751-1  
高知女子大学社会福祉学部・リカレント教育講座係

<FAX> 088-847-8672



当日、講座の開催会場へ直接お越しください。



- ※ 特別講座については、事前お申込以外の当日参加も可能です。
- ※ すべての講座は参加無料です

平成19年度リカレント教育講座  
特別講演 & 一般講座

講座	テーマ (担当講師)	開講日時 (場所)	定員
<b>特別講演 I</b>	<p style="text-align: center;"><b>医療制度改革と介護のゆくえ</b> (田中 きよむ 教授)</p> <p>2006年の健康保険法等の改正により、70歳以上高齢者の患者負担引上げや、療養病床入院の高齢者の食費および居住費の負担見直し、高額療養費負担限度額の引上げが実施されているが、それらにくわえて、後期高齢者医療制度が創設される(2008年度)。</p> <p>さらに、医療費適正化計画に基づき(2008年度)、診療報酬の改訂をふまえた医療型療養病床の削減・転換や、介護型療養病床の廃止(2012年度)が進められる。介護保険制度においては、予防重視型システムへの転換にくわえ、対象年齢の拡大、障害者福祉との統合の可能性も残している。</p> <p>そのような医療・介護制度改革がおこなわれる背景と現状、問題点と今後の方向について論じる。</p>	<p>11/24 (土) 13:30~15:30 (大講義室)</p>	200名
<b>特別講演 II</b>	<p style="text-align: center;"><b>社会福祉専門職養成と社会福祉学部</b> (住友 雄資 教授)</p> <p>社会福祉士および介護福祉士法改正案では、それぞれの福祉士の定義が変わるようになっていきます。特に社会福祉士は「連絡・調整」が新しく加わりました。これまでもおこなってきた業務だと思いますが、それでも法として認められることに大きな意義があります。しかし、定義だけが変わるのではなく、専門職養成や社会福祉教育そのものにも変化を促します。それは共通科目を有する精神保健福祉士にも影響を与えます。そこで、社会福祉士・精神保健福祉士の養成と本学社会福祉学部の教育内容・方法と絡めて、福祉専門職養成のありように迫まろうというのが、今回のテーマです。</p>	<p>1/26 (土) 13:30~15:30 (大講義室)</p>	200名
備考	<p>いずれの講座も、関心がある方ならどなたでも参加できます。複数の講座を併修できます。申込者がいない場合には当該講座は開講しません。特別講座・一般講座ABCは池キャンパス共用棟・社会福祉学部棟で開催。</p>		

講座	テーマ (担当講師)	開講日時 (時間)	定員
A	<p style="text-align: center;"><b>障害者自立支援法と高知県の実態</b> (田中 きよむ 教授)</p> <p>障害福祉分野においては、支援費制度が施行されて3年後、障害者自立支援法が昨年度から施行された。それは、なぜ導入され、社会福祉システムとして、どのような構造的特徴をもっているのかを明らかにし、今後のゆくえを探る。</p> <p>また、高知県における身体・知的・精神障害の当事者・家族、施設・事業所への実態調査をふまえ、障害者自立支援法が、障害をもつ人の生活にどのような影響を与えているのかを明らかにし、今後の政策課題と方向を論じる。</p>	<p>10/13 (土) 13:30~15:30 (教室 101)</p>	<p>50名</p>
B	<p style="text-align: center;"><b>田内千鶴子さんを知っていますか?</b> (玉里 恵美子 教授)</p> <p>第二次世界大戦を挟んで韓国孤児3,000人を育てた田内千鶴子さん。高知市若松町出身の田内さんは、韓国木浦の共生園の母(オモニ)となりました。本講座では、田内さんの生涯を美しい映像で綴った映画『愛の黙示録』を鑑賞した後、田内さんゆかりの人々からの聞き取り調査をもとに、知られざる田内千鶴子像に迫ります。</p>	<p>12/1 (土) 10:00~12:00 (教室 101)</p>	<p>50名</p>
C	<p style="text-align: center;"><b>認定子ども園と保育所制度のゆくえ</b> (田中 きよむ 教授)</p> <p>昨年成立した就学前教育・保育推進法(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律)によって、認定子ども園が制度化された。それは、どのような政策的背景をもち、これまでの児童福祉法に基づく保育所制度とくらべて、どのような特徴、内容をもつものであるかを明らかにすると同時に、高知県における認定基準の特徴や動向を論じる。</p> <p>そして、認定子ども園の制度化が、社会福祉システム全体の構造改革のなかでどのような位置にあり、今後、保育所制度そのものに対しても、どのような影響を与えてゆくのかを論じる。</p>	<p>12/1 (土) 13:30~15:30 (教室 101)</p>	<p>50名</p>

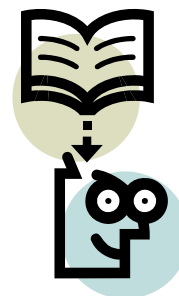
平成19年度リカレント教育講座

## ロービジョンケア（視覚障害リハビリテーション）講座

対象は、眼科医、視能訓練士、看護師、理学療法士、作業療法士などパラメディカルスタッフの方、介護支援専門員、ホームヘルパー、施設職員など福祉関係者・教育関係者などロービジョンケア、視覚障害リハビリテーションに携わっている方々40名。

病院の関係者が受講しやすいように日曜日開講を中心にしました。連続して行う講座なので、できれば続けて出ていただくことが望ましいですが、1回の参加も歓迎します。

もちろん視覚障害当事者や家族の方達の参加も歓迎しますが、専門家のための講座ですので、専門的用語が使われますし、映像も多く使いますのでご承知おきください。



講座	テーマ (担当講師)	開講日時 (時間)
D	<p>①ロービジョンケア(視覚障害リハビリテーション)とは何か (吉野 由美子 准教授)</p> <p>全盲者と弱視(ロービジョン)者、先天視覚障害者と中途視覚障害者の違い、それぞれのニーズの違いについてお話した後、ロービジョンケア(視覚障害リハビリテーション)とは何か、「ルミエールサロン」は何をするところか、そして高知県では今どのようなサービスが受けられるかなどを概括的にお話します。</p>	<p>10/14(日) 13:30~ 16:30 (教室101)</p>
	<p>②高知の視覚障害者生活訓練指導員の仕事—事例を交えて (県身体障害者連合会視覚障害者生活訓練指導員 別府 あかね・金平 景介)</p> <p>視覚障害者生活訓練指導員とはどんな資格で、どのようにして養成されているか、実際高知でどんな仕事をしているかを事例を交えてわかりやすくお話します。</p>	

講座	テーマ (担当講師)	開講日時 (時間)
E	<p style="text-align: center;"><b>①ロービジョンケアのための眼科基礎知識</b> (町田病院副院長 橋田 正継)</p> <p>沢山の図や写真を使って、分かりやすくロービジョンケアに必要な眼科の基礎知識をお話します。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p style="text-align: center;"><b>②町田病院のロービジョンケアの実際</b> (町田病院視能訓練士 野口 恵理・上田 希)</p> <p>視能訓練士とはどのような仕事をする人たちなのか、どんな養成を受けているのか、なぜロービジョンケアの中心的な役割を果たせるのかなどを話した後、町田病院のロービジョンケアの実際を具体的にお話します。</p>	<p>10/28(日) 13:30~ 16:30 (教室 101)</p>
F	<p style="text-align: center;"><b>適切な視覚障害者への配慮の仕方</b> (県身体障害者連合会視覚障害者生活訓練指導員 別府 あかね・金平 景介)</p> <p>視覚障害者を援助する際の様々な工夫、配慮すべき点などを実習や体験学習も交えて具体的にお話します。</p>	<p>11/4(日) 13:30~ 16:30 (教室 101)</p>
G	<p style="text-align: center;"><b>見えない見えづらい子の発達とその支援</b> (浦和大学 香川 スミ子 教授)</p> <p>香川先生は、東京都身体障害者福祉センターで視覚障害乳幼児の子育て支援を30年近く担当して来られました。その豊富な臨床経験を下に、発達の基礎理論を踏まえながら、視覚に障害のあるこどもたちの子育て支援についてお話しいただきます。視覚に障害のあるこどもたちを担当している保育士さん、学校の先生、子育てに悩む親御さん達にも是非聞いていただきたい話です。</p> <p style="text-align: right;">(※講座Gの会場は高知県立盲学校です)</p>	<p>11/11(日) 10:00~ 12:00 (高知県立盲学校)</p>



■ JR 高知駅から／車で約 20 分

■ はりまや橋から／バスで約 20 分

## 高知女子大学社会福祉学部

**Kochi Women's University**

● 池キャンパス ●

〒781-0111 高知県高知市池 2751-1

TEL : 088-847-8700 (代表) FAX:088-847-8672 (学部専用)

<http://www.kochi-wu.ac.jp/~fukushi/>

## 平成 19 年度リカレント教育講座受講申込書

2007年 月 日

(フリガナ)			
氏名			
連絡先  □勤務先 □ご自宅	〒		
	TEL		FAX
	E-MAIL		
勤務先の名称			
職種			
受講を希望する講座  ※ 複数選択(併修)可 ※ 申込者がいない場合には当該講座は開講しません。	受講希望講座に○ ↓		
	特別講演		特別講演 I
			特別講演 II
	一般講座		A
			B
			C
	ロービジョン ケア講座		D
		E	
		F	
		G (高知県立盲学校で開講)	
本学部卒業生の場合記入	高知女子大学社会福祉学部 第 期生		
特記事項			
これまでの受講経験 (どちらかに○)	有	・	無(今回が初めて)

※ この申込書によって知り得た個人情報は、「平成19年度リカレント教育講座」実施の目的以外には利用しません。

申込締切: 2007年9月28日(金)

申込書が足りない場合はコピーしてお使いください

**平成19年度リカレント教育講座受講申込書**  
(裏面に必要事項をご記入し、FAXか郵送でお申込下さい)

**【お申込み先】**

**<郵送の場合>**

〒781-0111 高知市池 2751-1

高知女子大学社会福祉学部・リカレント教育講座係

**<FAXの場合>**

FAX 番号 : 088-847-8672

**【お申込締切】**

**2007年9月28日(金) 必着**



2008(平成20)年 1月 18日

社会福祉関係機関・施設・病院  
並びに精神保健福祉関係機関・施設・病院  
施 設 長 様

高知女子大学社会福祉学部  
学 部 長 前山 智  
リカレント教育講座  
コーディネーター 吉野 由美子

## 2007年度リカレント教育講座(特別講演Ⅱ)について

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本学の社会福祉実習教育に格別のご理解とご協力を賜りまして、衷心より御礼申し上げます。

このたび、社会福祉士および介護福祉士法の一部を改正する法律案の成立を受け、社会福祉学部リカレント講座を下記の通り開催いたします。より一層充実した実習教育をめざしまして、これまでに本学社会福祉学部生が実習を関係機関・施設・病院の実習指導者の皆様におかれまして、是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。

### 特別講演Ⅱ 「社会福祉専門職養成と社会福祉学部」

<講演> 住友 雄資 教授(高知女子大学社会福祉学部)

社会福祉士および介護福祉士法の一部を改正する法律案が成立しました(2007年11月28日)。それぞれの福祉士の定義が変わります。特に社会福祉士は「連絡・調整」が新しく加わりました。これまでもおこなってきた業務ですが、それでも法として認められたことに大きな意義があります。しかし、定義が変われば、専門職養成や社会福祉教育そのものにも変化を促します。それは共通科目を有する精神保健福祉士にも影響を与えます。そこで、主として社会福祉士・精神保健福祉士の養成と本学社会福祉学部の教育内容・方法と絡めて、福祉専門職養成のありように迫らうというのが、今回のテーマです。

日時：1月26日(土) 13:30～15:30

場所：高知女子大学池キャンパス 大講義室

\*参加費無料です。

\*事前お申込以外の当日参加も可能です。お誘い合わせの上ご来場下さい。

高知女子大学社会福祉学部

〒781-0111 高知県高知市池 2751-1

TEL 088-847-8700 (大学代表)

FAX 088-847-8672 (学部専用)

# 実習委員会

## 西内 章

### 1.活動方針

本学部の実習は、社会福祉士指定科目に対応する科目が「社会福祉現場実習Ⅰ」(1単位)「社会福祉現場実習Ⅱ」(機関・3単位)、「社会福祉現場実習Ⅲ」(施設・3単位)、精神保健福祉士指定科目に対応するのが、「精神保健福祉援助実習」(7単位)である。

その内訳は、2年次に履修する「社会福祉現場実習Ⅰ」が事前学習、3年次に履修する「社会福祉現場実習Ⅱ」および「社会福祉現場実習Ⅲ」が配属実習と事後学習となる。

また精神保健福祉援助実習は、3年次に事前学習、4年次に配属実習と事後学習を実施している。

平成19年度の活動方針は、厚生労働省において進められている社会福祉士および精神保健福祉士の実習科目の見直し作業を確認しつつ、平成18年度より実施している「社会福祉ふれあい実習」(1回生時に履修)と「精神保健福祉ふれあい実習」(2回生時に履修)を含め、実習以外の科目と連関を検討しながら、実習科目を体系的に実施することであった。

### 2.活動内容

今年度も「社会福祉実習のてびき 2007」をもとに授業(事前学習、配属実習、事後学習)と実習委託先との連絡・調整作業を行った。2007年度の配属実習の実施期間は、実習先と実習期間を調整した結果、7月30日より10月26日の間であった。

また、社会福祉現場実習Ⅱ・Ⅲの配属実習は、1人あたり24日(180時間)であり、35名が実習を行った。福祉事務所3名、市町村社会福祉協議会7名、病院(精神科除く)13名、特別養護老人ホーム7名、知的障害者更生相談所1名、知的障害者更生施設5名、知的障害者入所更生施設1名、身体障害者更生施設・授産施設1名、知的障害児施設1名、介護老人保健施設1名、救護施設2名、肢体不自由児施設4名、児童自立支援施設1名、児童相談所4名、児童養護施設8名、障害者通所更生施設(児童デイサービス・相談支援事業含む)2名、知的障害児通園施設1名、であった。

精神保健福祉援助実習の配属実習も、1人あたり24日(180時間)であり、23名が実習を行った。その内訳は、病院(精神)23名、精神保健福祉センター2名、地域活動支援センター1名であった。

※なお、上述の実習生の人数については、12日(90時間)を2回実施したものについては、それぞれの実習先をカウントしており、24日(180時間)1回実施したものについてもそれを1箇所として算出している。

### 3.成果と課題

実習に関する報告は、『2007年度 社会福祉実習報告書(Message)』(2007年3月刊行)に記している。本学では実習報告書のタイトルは、編集委員を中心にして学生が命名しており、2007年度のタイトルは「Message」である。また、3月11日には、社会福祉実習連絡協議会を実施し、学生の実習内容の発表と、実習先の実習担当者の実習担当教員の懇談会を行い2007年度の振り返りと2008年度の実習方法の検討・確認を行った。

今後の課題は、2007年11月に「社会福祉士及び介護福祉士法」が改正され、それに対応して、平成21年度より社会福祉士養成のためのカリキュラムが変更になる。特に演習や実習についての変更がなされており、その変更を受け、本学部の実習教育についても新たな体制の構築を行わなければならない。

# 総務・予算委員会

宮上 多加子

総務委員会・予算委員会として行った業務は、下記のとおりである。

## 1. 活動内容

### ① 教授会の資料準備及び運営

定例教授会に提出する議題及び総務に関わる事項を集約・調整し、教授会の議事メモを作成した。

### ② 高校生見学に対応

高等学校からの見学者に対応するため、池事務室及び看護学部の担当教員との調整をしながら、学部紹介及び案内をおこなった。H19年度は、高知県内4校、県外1校が見学に訪れた。

### ③ 学部日常事務の対応

助教および臨時事務職員の協力を得て、寄贈資料、手紙の登録、整理、回覧などの仕事に対応した。

### ④ 平成19年度『社会福祉学部報』の編集、発行

学部報の内容は、年度概況、教員の教育教究活動、学部内委員会活動、地域貢献活動、学生を中心とした活動報告および資料から構成されている。昨年度までは700部を作成していたが、H19年度は冊子から電子媒体（CD-R）に変更し、30部を作成した。

### ⑤ 学部PR誌の発行

学部PR誌『こんにちは、社会福祉学部です。』を改訂発行した。H19年度より印刷業者を変更し、作成費が若干減少した。また、業者からデータ（PDF）を一緒に納品してもらうことにより、学部HPへの掲載や追加資料の作成が容易になった。印刷部数は昨年度と同じく1200部である。

### ⑥ 学部内使用教室および備品の整備

年次計画で順次更新しているゼミ室のパソコンは、H19年度は4台を新規購入した。国家試験準備および後期試験の時期に学生自習室が満杯になるため、307共同演習室を第2学生自習室として整備し、新たにパソコン2台とプリンター1台を購入した。また、201学生自習室および社会福祉実習室のパソコン3台とプリンター4台を更新し、学習環境を整えた。

### ⑦ 定期購読している雑誌の整理

学部学生教育費、大学院（M）学生教育費、図書館管理費で継続して購入している和雑誌と洋雑誌について見直しを行った。

## 2. 成果と課題

予算執行に関しては、学部報のCD-R化や印刷業者の変更等により、昨年度に比較して印刷に関する費用削減が達成された。また、大学院予算との連動的な運用により、重複部分を少なくして効率的な予算執行が可能になっている。

継続的な課題としては、社会福祉学部共用の備品の整備および管理体制の検討があり、また、大学改革に関連する施設や備品については、改革後の学部運営を念頭においた検討が必要である。